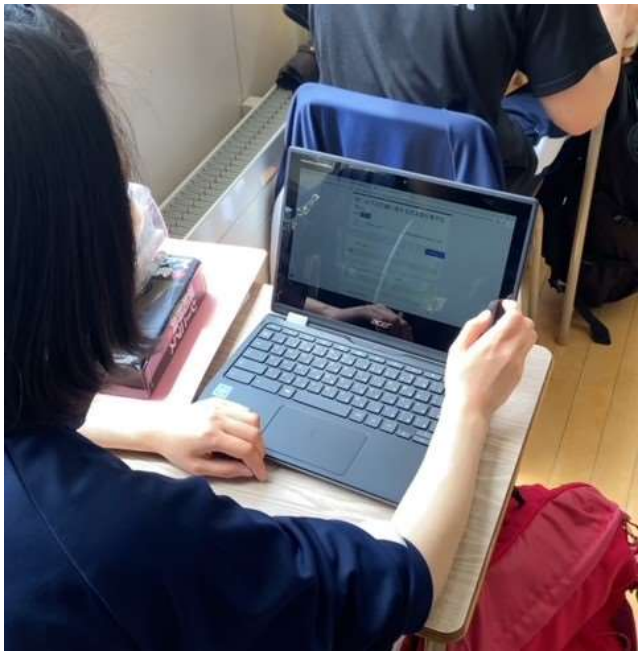
＜BYOD 授業　英語コミュニケーションⅠ＞

６月１４日（火）１年生の「英語コミュニケーションⅠ」でも BYOD を活用する授業が行われていました。

まず生徒はクラスルームに入って教科の中の課題をクリックします。このあたり生徒はもう相当慣れています。課題は単語集からの小テストとなっていて選択すると、開始ボタンが出てきます。その後テスト開始まで制限時間内で単語帳を復習します。

テスト開始とともに問題答案用紙画面が出てきて、そのまま解答を打ち込みます。解答後、正答も表示されて自動的に採点もされます。教師が作成した正答を元に採点しますが、正答は複数登録できるので、事前に送り仮名違いなども想定して作成しておきます。最後に結果を先生へ送信します。教師側では点数の記録と集計が自動で行われています。BYOD が活用される以前にはできなかった、授業中の生徒の活動の評価を小まめに行うことが可能となり、広範囲の評価で一層授業改善に役立てていくことができるようになりました。

（解答中）　解答を打ち込みます



（解答後）　正答を確認します

続いて思考・判断・表現力、主体性を高めるための課題になります。
世界にある変わったチョコレートを調べ、グループで Google スライドを使って英語でまとめと発表を行うというものです。

まずは調べ活動です。世界は広い、色々な面白いチョコレートがありそうです。

グループ毎に協力して、スライドを作っていきます。グループ登録するとスライドの作成も協働で行うことができます。それぞれの端末で作業していても、決してそれぞれ別々のものを作っているわけではありません。こういった共同作業ができることもクラウドサービスの利点となります。

６月１５日（水）の授業はプレゼン資料作成の続きです。
スライドは勿論ページ別に役割分担して作業することも可能です。液晶タッチパネルなのでタッチペンや手指も上手く使いながら協力体制で作業を進めます。

プレゼン前の班打合せ時に作品制作を一斉に締め切りました。教師側からスライドを「閲覧できる」か「編集できる」かに設定できます。全てのスライドを「閲覧できる」に設定し、プレゼン準備のため編集はできないが見ることはできるようにします。
最後、プレゼンテーション発表です。早く積極的に発表すると評価が高くなります。ラーメンチョコやオレンジチョコ、道具チョコやアルコールチョコなど、各班英語で上手に紹介してくれて、世界にはユニークなチョコが色々あるもんだと感心させられました。

今後とももっと使えるように BYOD 端末を活用していきましょう！